

# 北部太平洋大中型まき網地域漁業復興プロジェクト（小名浜地区③）

事業実施者：北部太平洋まき網漁業協同組合連合会  
支援期間：平成29年3月1日～令和2年2月29日

使用船舶名：第八十一共徳丸（網船 300トン）  
第二十八共徳丸（運搬船308トン）  
（大中型まき網漁業）

## （取組の内容）

- **船団規模の縮減**：運搬機能付き網船（300トン）を導入、1船団3隻41名体制から、探索船を削減し、1船団2隻39名体制に移行
- **省コスト**：操業体制を1船団2隻体制にすることにより、燃油費及び修繕費を削減
- **労働環境性の改善**：運搬機能付き網船（300トン）の導入によって、十分な安全性及びILO基準に準拠した居住環境の確保
- **資源管理の推進及び漁獲物の鮮度保持の向上**：紫外線で殺菌した冷海水を併用することによって漁獲物の鮮度保持向上
- **福島県いわき市への水揚げ促進**：運搬機能付き網船の導入に伴い、新・小名浜魚市場への分散水揚げを拡大し、高鮮度品の供給を増やすことで、福島県の水産加工業の販路回復を支援



運搬機能付き網船



小名浜港における水揚

## （事業の成果）

- 船団規模の縮減による **1船団2隻操業体制で支障なく操業可能なことを確認**した。
- 燃油使用量1,074KL/年（3年平均）、修繕費48,818千円/年（3年平均）となり、省コスト化に繋がった。  
（復興計画：燃油使用量1,105KL/年、修繕費57,200千円/年）
- サバ・イワシ類を主体に3年平均で14,365トン水揚げし、うち、冷海水締め鮮魚は、1,134トン水揚げした。
- **小名浜港へサバ・イワシ類を3年平均で1,857トン水揚げし、復興促進に貢献**した。
- **償却前利益は261百万円/年（3年平均）となり、復興計画（189百万円/年）を上回り、次世代代船の建造が期待される。**